

様式第2号（第5条関係）

都 市 計 画 マ ス タ ー プ ラ ン 策 定 委 員 会 会 議 録

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
司会（坂巻）	【開会】 省略
会長（吉岡）	【会長あいさつ】 省略
市担当（坂巻）	【報告】経過報告 ○東京理科大学特別講義（平成23年11月16日）について ○地域別ワークショップについて （地区別のリーダーから委員長へ地区別提言書を提出） ○今後の流れについて
会長（吉岡）	【議事：都市計画マスタープラン全体構想について】 全体構想について4. 1から順次、内容について質問、意見を伺います。まず4. 1についてご意見お願いいたします。
敷樋委員	4つの領域が示されていますが、環境と交流の位置が逆になるのではないのでしょうか。領域の下に書かれている内容が、環境と交流と入れ違いになっていると思います。
市担当（坂巻）	ご指摘いただいた通りです。修正いたします。
根岸委員	基本理念についてですが、この表現だと行政主体に進めているような印象を受けます。市民と行政との協働と表現したほうがよりはっきりすると思います。
敷樋委員	私もそのほうが良いと思います。
会長（吉岡）	そういう趣旨の内容で修正をお願いします。ほかにご意見はありますか。
青木委員	市民と行政とするのであれば、企業も入れたほうがよいのではないのでしょうか。
根岸委員	市民には企業も含まれていると定義されていると思います。一般の方がどのような印象をもたれるかが重要かと思います。
会長（吉岡）	市民という言葉の中に企業は含まれるのでしょうか。
市担当（坂巻）	市民に企業は含まれているという考えです。
飛澤委員	行政という言葉を入れるのは違和感を覚えます。いまのままがいいのではないのでしょうか。
青木委員	行政という言葉を入れないのであれば、このままでもよいと思います。
佐藤（敏）委員	他市の事例をみると、住民、行政、事業所が一体となったまちづくりという表現があります。皆で取組むという実感があるので、3つとも表記したほうがいいのではないのでしょうか。
根岸委員	行政がまちづくりを進めることを原則として、市民がそれに協力するのではな

	く、対等の立場でまちづくりを進めていくという考えが大事だと思います。
会長（吉岡）	<p>企業という言葉は、営利団体のみを表すもので、NPOなどの非営利団体を含めて組織体という言葉を使うことが多いです。</p> <p>ここまで3つの案が出てきました。1つはこのまま、2つめは行政を加える、3つめは企業も含めて3者を表記する。多数決でどれにするか決めたいと思います。</p> <p>1つめのこのままが多数となりました。このままで進めたいと思います。</p>
敷樋委員	都市構造の図がありますが、どの色が何を表しているのかわかりません。凡例を入れてはどうでしょうか。
市担当（坂巻）	凡例を追加します。
会長（吉岡）	次に4. 2についてご意見等お願いいたします。
根岸委員	情報という項目を方針2または方針4に追加することはできないでしょうか。情報の伝達、情報の交流など、何か盛り込めればよいなと思いました。
富田委員	理科大の学生からの意見では治安が悪いとのことでした。小学校で学校単位では携帯電話等のメールを使って情報発信を行っています。これからは、市民同士による情報発信も大事なのではと思いました。これまでも防災無線による呼びかけはありますが、みんなで守るといった雰囲気づくりのための情報交換が日必要なのではないのでしょうか。
会長（吉岡）	<p>方針4に情報という項目を盛り込むというかたちで事務局と相談させていただきたいと思います。</p> <p>続いて、各方針について進めたいと思います。</p>
市担当（坂巻）	方針図を実際の白地図に落とし込んだものを各グループの机に置かせていただきました。方針図については、その図面を見ながらご検討いただければと思います。
敷樋委員	方針2についてです。公共交通の整備で、市内循環バスの拡充・再編を図るとあります。続いて充実を促進するとあります。表現に整合を図ったほうがよいのではないのでしょうか。
市担当（坂巻）	後半、ややトーンダウンした表現としています。矛盾した表現ではないと思っておりますが、もう少し強めの表現としてもよいかもしれません。検討させていただければと思います。
市担当（酒巻）	現在、市では公共交通機関の検討を行っています。そのなかでデマンドバスの導入について検討を進めています。循環バス等ということでデマンドバスを含めた内容とさせていただきたいのですがいかがでしょうか。
会長（吉岡）	デマンドバスについてご説明ください。
市担当（酒巻）	時間を決めて定期的に走っているものが循環バスですが、デマンドバスというのは、あらかじめ登録した人が電話をすると決められた停留所までバスが迎え

	に来るというシステムです。目的地は指定されていますが、イメージとしてはタクシーとバスの中間のものです。
会長（吉岡）	循環バス等にデマンドバスを含めたものとしてよろしいでしょうか。 （異議なしの声） 事務局から提案のあった内容とさせていただきます。
飛澤委員	方針4について、浸水時要避難区域が2色あるように見えます。
市担当（坂巻）	液状化危険区域と重なっている部分について浸水時要避難区域の部分が濃くなって表現されています。
飛澤委員	実際に液状化が発生したところが反映されていないように思います。
市担当（坂巻）	先日の震災では南栗橋で液状化が発生しました。この図面は過去の調査を基本に作成したもので、南栗橋地区のような新しい住宅地についてはデータがありませんでした。だいぶ現状と異なってきていますので、市内全体、どこで発生してもおかしくないということ表現したいと思います。
敷樋委員	ヘリポートが西側に偏っています。地域全体にヘリポートの配置を表現したほうがよいのではないのでしょうか。
市担当（坂巻）	配置を含め、再度検討させていただきたいと思います。
富田委員	公共施設の有効利用の部分で、余裕教室が発生するとありますが、若年層の定住割合の低下とつながりが薄いのではないのでしょうか。
市担当（酒巻）	余裕教室の発生は、例示として示しています。削除を含めて検討させていただければと思います。
佐藤（敏）委員	削除する必要はないと思います。余裕教室があることで、地域の活性化につながる要素があるということになるので。
坂田委員	若い人がいなくなっているという説明に余裕教室を用いるより、子供が少なくなったと直接的に表現したほうがよいのではないのでしょうか。
佐藤（敏）委員	10年程度しか使っていない小学校が廃校となっているという現状があります。こういったものを有効利用することが大事だと思います。有効利用というタイトルにも合致すると思います。
市担当（酒巻）	今の表現のままで学校の統廃合というイメージができるか、適正配置については何を求めていくかがポイントになると思います。
富田委員	余裕教室という表現を文頭にもってくることに違和感を覚えます。
会長（吉岡）	冒頭の部分を削除し別の表現を考えてみていただきたいと思います。事務局お願いいたします。
市担当（坂巻）	補足ですが、全体構想に赤字の部分については、地区別の提案を入れさせていただきます。ほかにも加えたほうがよいと思うものがあれば、後程でもご指摘いただければと思います。
根岸委員	自転車利用に配慮した道路環境の充実について、自転車そのものは市民の主要

	な交通手段となっていると思います。通勤通学に限らないのではないのでしょうか。そのニュアンスが伝わるような内容にしたほうがよいと思います。自転車で簡単にいける、まちづくりという取組みがあります。そのような視点からも自転車が主要な交通手段であるからそのための環境整備ということで整理していただければと思います。
会長（吉岡）	自転車が主要な交通であることがわかるような主旨で記述を修正していただきましたと思います。
坂居委員	省エネルギーの都市づくりの部分に、太陽光などの自然エネルギーを積極的に活用することを加えてはいかがでしょうか。
市担当（酒巻）	自然エネルギーに関する表現は入れておりません。どこにいとれとよいでしょうか。
坂居委員	旅行に行ったときに、道路わきに太陽光パネルが並んでいるのを見たことがあります。施設の屋上に設置されている事例もあります。こういったあたりを活用するとよいのではないかと思います。省エネはもちろん重要だと思いますが、自然エネルギーの活用は、心構えとしてあってよいと思います。
敷樋委員	自然エネルギーの活用は動向としてあると思います。追加してよいと思います。
市担当（酒巻）	“(2) 資源循環と省エネルギーの都市づくり”に追加等行い修正させていただきます。
委員長（吉岡）	【議事：都市計画マスタープラン地域別構想について】 地域別構想について久喜地区から順次、内容について質問、意見を伺います。
飛澤委員	久喜地区です。 河川改修に関して、青毛堀川等とありますが、旧河川についても表現として加えていただきたいと思います。 また、地区の南部ということで太田袋、樋ノ口が挙げられていますが、原、除堀も入れたほうがよいと思います。
市担当（坂巻）	河川の部分では、代表的なものとして青毛堀川を入れました。表現方法は検討させていただきます。
青木委員	鷲宮地区では、農業用水も改修が必要だという意見がありました。久喜市全体でも同様だと思います。
稲垣委員	下水処理場のあたりが工業系市街地として色づけられていますが、これよろしいでしょうか。
市担当（酒巻）	工業よりも住居系とすることも考えられます。
飛澤委員	活用する方法を考えていただく必要があると思います。
飛澤委員	方針図で田園居住地区と田園地区の区別がつきにくくなっています。
根岸委員	既存集落を区別するのは難しいと思いますが、可能ですか。
市担当（坂巻）	既存集落の考え方はいろいろあります。なかでも都市計画的な定義があります

	ので、それによろしければ都市計画的な定義を基本に修正対応させていただきます。
敷樋委員	道路体系の改善の2つめについて、春日部菖蒲線バイパスというのは具体的にはどこを通るのでしょうか。新市の一体化に関係してくるかと思えます。
市担当（酒巻）	新市の一体化ということで久喜地区と菖蒲地区のつながりなどを示しています。もう少し例示を入れたいと思えます。
敷樋委員	菖蒲地区についてです。菖蒲地区では、圏央道の整備にあわせてまちづくりを検討しようということで意見が出されました。菖蒲地区では特に田畑が多く、農業振興地域に指定されていることから開発が抑えられているという状況です。今後については、緩やかな開発が必要というような意見も出されました。
佐藤（和）委員	旧市街地の商業が薄れつつあるということが書かれていますが、それに対する方針が見えません。旧市街地の商業が衰退してきているが、道路のほうに力を注ぐということだと、置いてきぼりになってしまうという印象があります。
稲尾委員	菖蒲地区の旧市街地では、ほとんど後継者がいないという声があります。テナントが多く立ち退くしかないということだそうです。数十年前にはいろいろな構想がありましたが、何もできていませんでした。街中の商業は壊滅状態ですし、農業もあと数年で衰退してしまうと思います。
根岸委員	商業が薄れつつあるというのは地域社会の変化を表現したものと考えられます。実際に、商業をやめたいという人に対して止めることはできないと思います。
会長（吉岡）	“(3) 地域の活性化に寄与する、田園環境と共生した定住環境の創出”に、地域の活性化を盛り込まれればいいのではないかという意見だと思います。そのように修正をお願いします。
佐藤（和）委員	栗橋地区についてです。栗橋地区は利根川が近くにあるので、利根川に関する意見が多くありました。河川改修にあわせて街並みが変わっていくこと、関所跡地など歴史資源を今後どう考えていくか、また南栗橋のベッドタウン化についてを中心に協議されてきました。
佐藤（和）委員	課題の2つ目の○で挙げられた浸水災害が予測されるとありますが、適切でしょうか。
会長（吉岡）	災害に関する記述については後程一括して議論させていただければと思います。
佐藤（和）委員	まちづくりの目標が読みづらいと思いました。“ひと”のあとの中点が読みづらいいかなという印象です。“ひと・街”ではなく“ひとと街”としたほうがよいと思います。
根岸委員	このままでもいいかもしれません。“元気で、”と区切れれば読みやすくなるので

	はないでしょうか。
坂田委員	“街”という言葉が連続してたくさん出てくるのでくどい感じもします。
坂居委員	ひとが元気で訪れたいくなる街としてはいかがでしょうか。
青木委員	簡単にしたほうが伝わりやすいと思います。
会長（吉岡）	これまでの意見をうかがって、“ひとが元気で訪れたいくなる街、歴史を感じさせる災害に強い街”としてはいかがでしょうか。 (異議なしの声) ではそのようにさせていただきたいと思います
青木委員	鷺宮地区についてです。鷺宮地区内には東武鷺宮駅とJR東鷺宮駅があります。東武鷺宮は昔からのまちです。東鷺宮は昭和40年ころからつくられてきたまちです。現在では高齢化してきています。東武鷺宮駅周辺は近年アニメの効果で盛り上がっていますが、商業が成り立たなくなってきました。人が多くなってきたことを活用しながら活性化したらどうかという意見が挙げられました。東鷺宮駅については、周辺に農地が多いが耕作されていないところが多くなってきたので新しい人たちに積極的に貸し出しながら新旧住民の交流を生み出したらどうかという意見も出されました。 地区内の調整区域については、コントロールするような形で住環境の向上を図るということで整理されています。
佐藤（敏）委員	交通面の安全改善について、難しいものもありますが、簡単に対応できることもあると思います。例えばカーブミラーの設置などがあります。ここに書くほどの内容でもないかもしれませんが。
市担当（酒巻）	安全施設にはいろいろなものがあります。個人的にはすぐ対応できるものについては、具体的には記述せずに安全施設としてひとくくりにしてはどうかと考えています。 個別に地区で意見が出ているということで担当課には伝えていきます。都市計画マスタープランへの反映は難しいと思いますが、もし記載するのであれば、地域の意見を吸い上げる仕組みづくりという内容を入れさせていただきたいと思っています。
根岸委員	先ほど方針に追加すると言っていた情報に関する項目に、情報提供について記載してはどうでしょうか。
会長（吉岡）	個別の情報を入れ込むのは難しいと思います。要望が挙げられたことに対する対応について市民へ情報をフィードバックするような仕組みづくりを項目として入れてはいかがでしょうか。そのような内容で事務局検討をお願いします。
青木委員	方針に掲げられている内容と構想図の内容はリンクしているのでしょうか。
市担当（坂巻）	そのように考えていただいて結構です。
青木委員	方針のなかで商業施設を促進するとあります。構想図ではそれにあった色使い

	をすべきだと思います。
市担当（坂巻）	そのように修正します。
青木委員	地区別のワークショップでは、工場の誘致は求めているという意見だったと思います。今回の構想図には、工業市街地の誘導促進と表現されていますが扱いはどうなっているのでしょうか。
市担当（坂巻）	工業市街地については、全体構想と整合を図った内容となっています。地区別構想だけにあえて示したものではありません。
会長（吉岡）	工業系市街地の誘導促進については削除してください。
会長（吉岡）	一通り見ていただきましたが、戻っていただいても結構です。何かあればご意見お願いいたします。
飛澤委員	久喜地区では、1級河川という言葉を加えたほうがよいと思います。細かく名称を記載してもキリがないので。
敷樋委員	“主要な河川”という表現はいかがでしょうか。河川に限らず農業用水も対象となっているようなので。
根岸委員	身近な河川も小川であつてもしよつちゅう氾濫しているということであれば、改修の対象となると思います。
敷樋委員	1級河川以外は河川法の対象外になるものだと思います。排水するための堀を改修ということであれば、すべてを含むような表現とするのがよいと思います。
青木委員	ある程度明確にする必要があると思うので、1級河川と表現するのがよいと思います。
会長（吉岡）	そのように修正していただきたいと思います。
市担当（坂巻）	ご検討ありがとうございました。 今回いただきました意見等を踏まえて修正し、庁内で調整させていただきます。そのうえで、取りまとめたものを次回お諮りしたいと思います。よろしくお願 いいたします。
<p>会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。</p> <p>平成24年 1月12日</p> <p>久喜市都市計画マスタープラン策定委員会</p> <p>会長 吉岡正道</p>	